

# 身の回りの税金と私たちの暮らし～これからの税金について考える～


天童市立長岡小学校教諭 6学年 石山 葉月

実施年月日：令和2年1月17日～31日 32名

## 1 実践計画・指導のねらい

今年度は消費税が10%に引き上げられ、児童にとって税を身近に感じる場面が多かったように思う。本実践では、国や県の税金の使われ方を理解したのちに、自分たちが住んでいる天童市では、税金をどのように使っているのかを知り、自分たちの生活と税金とのつながりを実感できるようにする。その後、人口減少・高齢化のグラフ、今後も社会保障費が増えていくことをもとに、自分たちの生活にも大きく関わっている税について、自分の考えをもてるようにする。

## 2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・租税教室を通して、税金について知る。	○ <u>税金とわたしたちの生活はどのようにつながっているのかな</u> ● 消費税を払っている。 ● この前、増税したよね。 ● (1億円のレプリカをもって) 1億円ってこんなに重いだね。 □使用教材名 DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」 (租税教室) 税理士の山口さん
2	・前時で学習したことをもとに、税金の種類について知り、現在の国や山形県の税金の使われ方を知る。	○ <u>国や山形県は、税金をどのように使っているのかな</u> ● 国の社会保障費は、全体の3分の1を占めているね。 ● 山形県の税金の使い道は、教育費が一番だね。 ● こんなに教育費に税金を使っているなんて思ってた。 □使用教材名 副教材「わたしたちの暮らしと税金」 
3	・自分たちが生活している天童市では、どのように税金を使っているのか知り、自分の生活とのつながりを考える。	○ <u>天童市は税金をどんなことに使っているのかな。</u> ● ぼくたちが受験した、英語のテストも「英語教育推進事業」として、152万円も使われているだね。 ● 二千局盤来のモニュメント、ぼくも参加したから名前が入ってるよ。1500万円も使っているだね。 □使用教材名 天童市広報誌(2019年4月号) 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
4	・これまで学習したことを元、税に対する自分の考えをもつ。	○ <u>これまで学習したことをもとに、これからの税金に対する自分の考えをもとう。</u> ● 社会保障費は、これからますます高くなっていくことがわかりました。大人になったら、税金をしっかり納めたいです。 ● 自分たちが知らないところでたくさん税金が使われていることがわかりました。学校の施設も教科書も大切に使いたいです。 ● 今後、さらに消費税があがっていくことは国民の生活が苦しくなっていくと思います。だけど、社会保障費が増えていくことを考えると、とても難しい問題だと気付くことができました。 □使用教材名 副教材「わたしたちの暮らしと税金」 副教材「私たちの暮らしと税」(中学校社会科用学習資料)一部抜粋(「これからの社会と税について考えてみよう」のページ)

### 【指導のポイント】<<1時間目>>

税理士さんからお話を伺うことで、税金のおおよそや税金の役割、自分たちの生活とのつながりについて、理解することができた。「マリンとヤマト」のDVDは非常にわかりやすく、税金がなくなったら…と実感を伴って理解することができた。

### 【指導のポイント】<<2、3時間目>>

2、3時間目の授業については、国や県、市がそれぞれどんなことに税金を使っているのか、予想を立ててから資料を読み取った。特に山形県や天童市については、自分が参加した事業や、使ったことがある施設に税金が使われていることに気付いた。

また、県と国の予算については共通点について班ごとに話し合った。社会保障費や教育費に多くの予算が使われていること、借金を抱えていることなど、共通する点を見だし、日本の税金の課題について気付くことができた。

### 【指導のポイント】<<4時間目>>

これまで学習してきたことをもとに、税金に対する自分の考えをノートに記録した。これまでの授業の中で、「国の予算の3分の1が社会保障費に使われている」ということが大きな話題となったことから、人口減少・高齢化のグラフ(中学校用資料からの一部抜粋)を提示したことで、児童の理解がさらに深まり、将来の税金に対する意識が高まった。

## 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

◎ 自分たちが住んでいる市町村の税の使われ方を教材とすることで、税を身近に感じ、「自分たちのために多くの税金が使われて、生活を支えてもらっているのだ。」と実感を伴って理解することができた。広報誌や議会だよりなどを資料として提示すると良い。

◎ 学習を始める前、児童は「税金は本当に必要なのか。」「大人になったらときに給料から引かれるなんていやだ。」と言っていた。しかし、学習が進むにつれて、税金が多くの人に使われていることに気付き、「大人になったら、しっかり税を納めたい。」という声がかかれた。

◆ 「税」という幅広い事項を、小学校段階でどこまで学習すれば良いのか、判断が難しかった。

◆ 児童が自ら調べたり、家の人にインタビューしたりして、自らの行動によって学習が深まると、より一層興味・関心が高まると思った。